

第8回関西広域連合委員会の概要

平成23年6月27日

関西広域連合本部

- ▶ 日時：平成23年6月25日（土） 13時05分～14時55分
- ▶ 場所：中之島センタービル内 リーガロイヤルNCB 「楓の間」
- ▶ 出席者：井戸連合長、仁坂副連合長、嘉田委員、山田委員、橋下委員、平井委員、齋藤徳島県副知事

▶ 議事概要

(1) 協議事項

① 国の出先機関対策について

- ・ 7月上旬に「アクション・プラン推進委員会」が開催されること、既に省庁からの反論が示されていること及びガバナンスの強化について、今後PTにおいて検討を進め、準備をしていくことが報告された。

② 節電対策等について

- ・ 節電対策として、府県の実情を踏まえ、年間5%、ピーク時10%の呼びかけは変更せず推進することとした。その実施内容の確認については府県で足並みを揃えることとし、緊急事態の場合には、緊急メッセージを出して協力を求めることとした。

③ 原子力安全協定について（資料なし）

- ・ 関西電力に対し「原子力発電所安全協定」を締結する方向で、具体的な協定の内容や申し入れの時期については、今後調整していくこととした。

④ 社会資本交通インフラ整備について

- ・ 各知事をメンバーとする「広域インフラ検討会」を作り、その下に北陸新幹線の専門部会と企画部会を設置し、港の問題も含めてテーマを広げて検討することとした。
- ・ 「北陸新幹線の早期全線整備を求める決議（案）」を決議した。

⑤ 政府への提言（案）について

- ・ 提案の概要について報告があり、了承された。

⑥ 公設試験研究機関の連携について

- ・ 工業系試験研究機関の機器利用の料金の府県内外での格差について、各府県の実情も踏まえ、今後継続して検討していくこととなった。

(2) 報告事項

① 東海・東南海・南海地震の3連動地震等による津波の被害想定について

- ・ 3連動地震による津波の被害想定については、三重、高知、鹿児島、宮崎、大分、山口、広島、岡山も関係してくることから、広く呼びかけながら国のモデルを活用し、シミュレーションをしていくことが報告された。

② 原子力事故災害対策の検討について

- ・ 広域防災策定委員会内に「原子力災害対策専門部会」を設置して検討していくこととなった。

③ 被災農業者に対する支援策について

- ・ 石巻の農業青年に対する説明会の状況が報道されたこともあり、関心を持つ者が増えてきているようなので、農業者支援事業については、更に具体化していくこととなった。

④ 広域研修の実施について

- ・ 府県間で、専門研修の相互乗り入れを弾力的に運用していくこととした。

⑤ 関西ポート・オーソリティ構想の提言（関経連）について

- ・ 関西経済連合会提言の「関西ポート・オーソリティ」について報告があり、「広域インフラ検討部会」の企画部会で対応を行うこととした。